

## 第2章 貨物管理関係手続

システムに貨物情報が登録されている貨物について、システムに参加している保税地域又は税関により他所蔵置許可の旨がシステムに登録された場所（以下この章において「システム参加保税地域等」という。）における関税法第32条（見本の一時持出）、関税法第34条の2（記帳義務）、関税法第36条第2項（保税地域についての規定の準用等）及び関税法第40条（貨物の取扱い）に規定する貨物管理に係る手続を行う場合は、この章の定めるところによる。

### 第1節 混載貨物関係手続

システムに登録済みの混載貨物情報（混載仕分けの親となる貨物情報（以下この章において「混載親B/L情報」という。))を、通関手続のため混載仕分けの子となる貨物情報（以下この章において「混載子B/L情報」という。))に分割する場合の手続は、この節の定めるところによる。

#### 1 混載子B/L情報の登録

混載仕分けを行うシステムに参加している保税地域等において、この章第3節（貨物の搬入関係手続）により搬入の確認がシステムに登録されると、システムでの貨物管理は混載子B/L情報単位の管理されることから、混載親B/L情報と混載子B/L情報の関連付けをシステムに登録する必要がある。

また、仮陸揚貨物に係る混載子B/L情報の登録は混載親B/L情報の混載仕分確認（この章第3節（貨物の搬入関係手続）参照）情報がシステムに登録されるまでに行う。

混載親B/L情報と混載子B/L情報の関連付けがシステムに登録されると、仮陸揚届の提出となる。

##### (1) 登録の時期

混載仕分けを行うシステムに参加している保税地域等において、混載子B/L情報をシステムに登録する場合は、当該混載子B/L情報に係る混載親B/L情報についての混載仕分確認（この章第3節（貨物の搬入関係手続）参照）を行う。

なお、混載子B/L情報がシステムに登録されてから、登録日を含めて20日間経過しても当該混載子B/L情報と混載親B/L情報との関連付けの登録が行われない場合は、当該混載子B/L情報がシステムから削除されることから留意すること。

##### (2) 登録の方法

###### イ 出港前報告情報を引用する方法

出港前報告情報を引用して混載子B/L情報をシステムに登録する場合は、「ハウスB/L貨物情報登録呼出し」業務（業務コード：NVC11）を利用して、「ハウスB/L番号」欄に利用運送事業者が報告したハウスB/Lに基づく積荷情報のB/L番号を必須入力の上、送信することにより、前章第1節4(1)（登録の方法）によりシステムに登録された出港前報告情報の内容が、「ハウスB/L貨物情報登録呼出情報」（出力情報コード：SAS0751）として応答画面に出力されることから、後記ロ（出港前報告情報を引用しない場合）に準じて入力し送信する。

ロ 出港前報告情報を引用しない場合

混載子B/L情報をシステムに登録する場合は、「ハウスB/L貨物情報登録（登録、訂正、削除）」業務（業務コード：NVC01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、「@」が付された項目を入力した場合、システムを使用した仮陸揚貨物の保税運送は、「保税運送申告」業務（業務コード：OLC）を実施することなく、当該貨物の「搬入確認登録（保税運送貨物）」業務（業務コード：BIA）又は「ハウスB/L貨物確認登録」業務（業務コード：CTS）の登録を契機に自動起動される。

<共通部>

[1] 処理区分コード（「処理区分\*」欄）

「9」（登録）を必須入力する。

[2] マスターB/L・混載親B/L番号（「マスターB/L番号」欄）

混載親B/L情報と混載子B/L情報の関連付けをシステムに登録する場合又は仮陸揚貨物で保税運送を行う場合は、混載親B/L情報のB/L番号を必須入力する。

[3] 保税地域等コード（「保税地域」欄）

混載仕分けを行う予定の保税地域を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[4] 提出先官署（「提出先官署」欄）

混載親B/L情報がシステムに登録されていない場合であって、混載子B/L情報に仮陸揚貨物であるの旨がシステムに登録した場合は、仮陸揚届の提出先の税関官署を入力する。

混載親B/L情報に対する積荷目録提出先税関官署と異なる税関官署を仮陸揚届提出先に指定する場合は入力する。

<繰返部>

※ 以下 [5] から [66] までの項目は、最大 20 欄まで繰り返し入力することができる。

[5] ハウスB/L・混載子B/L番号（「ハウスB/L番号」欄）

混載子B/L情報のB/L番号を必須入力する。

「,」（カンマ）の入力は、「.」（ピリオド）で入力する。

なお、出港前報告対象貨物の場合、「出港前報告（ハウスB/L）」業務（業務コード：AHR）又は「出港前報告訂正（ハウスB/L）」業務（業務コード：CHR）により報告されたハウスB/L番号と同じ内容を入力すること。

（入力方法）

① 1桁目から4桁目

ハウスB/L用コード又は船会社コード（「業務コード集」参照）のうち混載貨物用コードを入力する。

② 5桁目以降

CT-B/L番号（複合運送証券番号のことをいう。以下この章において同じ。）を入力する。

③ 枝番を入力する場合は、下表を参照し、②に続けて入力する。

なお、「ハウスB/L貨物情報登録」業務（業務コード：NVC01）は、分割後のB/L番号ごとに実施する。

また、枝番を付した場合は、システムを使用して後続業務を行う通関業者等に、当該B／L番号に枝番が付されている旨及び分割内容を連絡する。

順序	枝番								
1	W	5	WW	9	XW	13	YW	17	ZW
2	X	6	WX	10	XX	14	YX	18	ZX
3	Y	7	WY	11	XY	15	YY	19	ZY
4	Z	8	WZ	12	XZ	16	YZ	20	ZZ

[6] 品名（「品名」欄）

貨物の品名を必須入力する。

[7] 最終仕向地コード（「最終仕向地」欄左）

最終仕向地を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[8] 最終仕向地名（「最終仕向地」欄右）

「最終仕向地」欄左に入力した最終仕向地コードにより地名が特定できない場合は、最終仕向地名を入力する。

[9] 荷渡地コード（「荷渡地」欄左）

荷渡地を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[10] 荷渡地名（「荷渡地」欄右）

「荷渡地」欄左に入力した荷渡地コードにより地名が特定できない場合は、荷渡地名を必須入力する。

[11] 荷送人コード（「荷送人」欄）

輸出入者コード又は法人番号を有する荷送人の場合は、輸出入者コード又は法人番号を入力する。なお、枝番（4桁）を入力しない場合はシステムにより自動的に「0000」が補完される。

輸出入者コード又は法人番号を有しない荷送人の場合は、入力を要しない。

[12] 荷送人名（「荷送人名称」欄）

次のいずれかに該当する場合は荷送人名を必須入力する。

① 「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合。

② 「荷送人」欄にJASTPROコード又は税関発給コードと関連付けられていない法人番号（以下この章において「関連付けのない法人番号」という。）を入力した場合。

[13] 荷送人住所（連続入力）（「荷送人住所」欄）

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の住所を入力する。

「荷送人住所 St.1」欄から「荷送人住所 Country-sub」欄に入力する場合は、入力不可。

[14] 荷送人住所1／4（「荷送人住所 St.1」欄）

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の住所（Street and number/P.O.Box）を入力する。

「荷送人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）であっても、システムに登録されている荷送人の住所と異なる場合は、当該住所(Street

and number/P. O. BOX)を入力する。

「荷送人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[15] 荷送人住所 2 / 4 (「荷送人住所 St. 2」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の住所 (Street and number/P. O. Box) を入力する。

「荷送人」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている荷送人の住所と異なる場合は、当該住所 (Street and number/P. O. BOX) を入力する。

「荷送人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[16] 荷送人住所 3 / 4 (「荷送人住所 City」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の住所 (City Name) を入力する。

「荷送人」欄を入力した場合であっても、システムに登録されている荷送人の住所と異なる場合は、当該住所 (City Name) を入力する。

「荷送人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[17] 荷送人住所 4 / 4 (「荷送人住所 Country-sub」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の住所 (Country sub-entity, name) を入力する。

「荷送人」欄を入力した場合であっても、システムに登録されている荷送人の住所と異なる場合は、当該住所 (Country sub-entity, name) を入力する。

「荷送人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[18] 荷送人郵便番号 (「荷送人 Postcode」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の郵便番号を入力する (区切り符号は入力しない。)

「荷送人」欄を入力した場合であっても、システムに登録されている荷送人の郵便番号と異なる場合は、当該郵便番号 (Postcode) を入力する (区切り符号は入力しない。)

荷送人の国に郵便番号が存在しない場合は、入力を要しない。

[19] 荷送人国名コード (「荷送人 Country」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の国 (地域) を国名コード (「業務コード集」参照) で入力する。

[20] 荷送人電話番号 (「荷送人電話番号」欄)

「荷送人」欄で荷送人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷送人の電話番号を市外局番から入力する (区切り符号は入力せず、数字のみで入力すること。)

[21] 荷受人コード (「荷受人」欄)

輸出入者コード又は法人番号を有する荷受人の場合は、輸出入者コード又は法人番号を入力する。なお、枝番 (4桁) を入力しない場合はシステムにより自動的に「0000」が補完される。

輸出入者コード又は法人番号を有しない荷受人の場合は、入力を要しない。

[22] 荷受人名 (「荷受人名称」欄)

次のいずれかに該当する場合は荷受人名を必須入力する。

- ① 「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合。
- ② 「荷受人」欄に関連付けのない法人番号を入力した場合。

[23] 荷受人住所（連続入力）（「荷受人住所」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の住所を入力する。

「荷受人住所 St.1」欄から「荷受人住所 Country-sub」欄に入力する場合は、入力不可。

[24] 荷受人住所1 / 4（「荷受人住所 St.1」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の住所（Street and number/P. O. Box）を入力する。

「荷受人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）であっても、システムに登録されている荷受人の住所と異なる場合は、当該住所（Street and number/P. O. BOX）を入力する。

「荷受人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[25] 荷受人住所2 / 4（「荷受人住所 St.2」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の住所（Street and number/P. O. Box）を入力する。

「荷受人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）であっても、システムに登録されている荷受人の住所と異なる場合は、当該住所（Street and number/P. O. BOX）を入力する。

「荷受人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[26] 荷受人住所3 / 4（「荷受人住所 City」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の住所（City Name）を入力する。

「荷受人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）であっても、システムに登録されている荷受人の住所と異なる場合は、当該住所（City Name）を入力する。

「荷受人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[27] 荷受人住所4 / 4（「荷受人住所 Country-sub」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人住所（Country sub-entity, name）を入力する。

「荷受人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）であっても、システムに登録されている荷受人の住所と異なる場合は、当該住所（Country sub-entity, name）を入力する。

「荷受人住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[28] 荷受人郵便番号（「荷受人 Postcode」欄）

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の郵便番号を入力する（区切り符号は入力しない。）。

「荷受人」欄を入力した場合（関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。）で

あっても、システムに登録されている荷受人の郵便番号と異なる場合は、当該郵便番号 (Postcode) を入力する (区切り符号は入力しない。)

[29] 荷受人国名コード (「荷受人 Country」欄)

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の国 (地域) を国名コード (「業務コード集」参照) で入力する。

[30] 荷受人電話番号 (「荷受人電話番号」欄)

「荷受人」欄で荷受人コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、荷受人の電話番号を市外局番から入力する (区切り符号は入力せず、数字のみで入力すること)。

※ 以下 [31] から [40] までの項目は、最大 2 欄まで繰り返し入力することができる。

[31] 着荷通知先コード (「着荷通知先」欄)

輸出入者コード又は法人番号を有する着荷通知先の場合は、輸出入者コード又は法人番号を入力する。なお、枝番 (4 桁) を入力しない場合はシステムにより自動的に「0000」が補完される。

輸出入者コード又は法人番号を有しない着荷通知先の場合は、入力を要しない。

[32] 着荷通知先名 (「着荷通知先名称」欄)

次のいずれかに該当する場合は着荷通知先名を必須入力する。

- ① 「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合。
- ② 「着荷通知先」欄に関連付けのない法人番号を入力した場合。

[33] 着荷通知先住所 (連続入力) (「着荷通知先住所」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先住所を入力する。

「着荷通知先住所 St. 1」欄から「着荷通知先住所 Country-sub」欄に入力する場合は、入力不可。

[34] 着荷通知先住所 1 / 4 (「着荷通知先住所 St. 1」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先住所 (Street and number/P. O. Box) を入力する。

「着荷通知先」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている着荷通知先の住所と異なる場合は、当該住所 (Street and number/P. O. BOX) を入力する。

「着荷通知先住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[35] 着荷通知先住所 2 / 4 (「着荷通知先住所 St. 2」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先住所 (Street and number/P. O. Box) を入力する。

「着荷通知先」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている着荷通知先の住所と異なる場合は、当該住所 (Street and number/P. O. BOX) を入力する。

「着荷通知先住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[36] 着荷通知先住所 3 / 4 (「着荷通知先住所 City」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人

番号を入力した場合は、着荷通知先住所 (City Name) を入力する。

「着荷通知先」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている着荷通知先の住所と異なる場合は、当該住所 (City Name) を入力する。

「着荷通知先住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[37] 着荷通知先住所 4 / 4 (「着荷通知先住所 Country-sub」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先住所 (Country sub-entity, name) を入力する。

「着荷通知先」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている着荷通知先の住所と異なる場合は、当該住所 (Country sub-entity, name) を入力する。

「着荷通知先住所」欄を入力した場合は、入力不可。

[38] 着荷通知先郵便番号 (「着荷通知先 Postcode」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先の郵便番号を入力する (区切り符号は入力しない。)

「着荷通知先」欄を入力した場合 (関連付けのない法人番号を入力した場合を除く。) であっても、システムに登録されている着荷通知先の郵便番号と異なる場合は、当該郵便番号 (Postcode) を入力する (区切り符号は入力しない。)

[39] 着荷通知先国名コード (「着荷通知先 Country」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先の国 (地域) を国名コード (「業務コード集」参照) で入力する。

[40] 着荷通知先電話番号 (「着荷通知先電話番号」欄)

「着荷通知先」欄で着荷通知先コードを入力しなかった場合又は関連付けのない法人番号を入力した場合は、着荷通知先の電話番号を市外局番から入力する (区切り符号は入力せず、数字のみで入力すること。)

[41] 代表品目番号 (「品目番号」欄)

貨物の代表品目番号をHSコード (6桁又は4桁) で入力する。

[42] 記号番号 (「記号番号」欄)

貨物の記号及び番号を必須入力する。

[43] 個数 (「個数」欄左)

貨物の外装個数を必須入力する。

「0」は入力不可。

なお、個数により入力できない場合は、「1」を入力する。

[44] 個数単位コード (「個数」欄右)

個数の単位を包装種類コード (「業務コード集」参照) で必須入力する。

[45] 総重量 (「総重量」欄左)

貨物の総重量を必須入力する。

「0」は入力不可。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

- [46] 重量単位コード（「総重量」欄右）  
重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。
- [47] ネット重量（「ネット重量」欄左）  
貨物のネット重量を入力する。  
「0」は入力不可。  
なお、小数点以下第3位まで入力することができる。
- [48] 重量単位コード（「ネット重量」欄右）  
「ネット重量」欄左を入力した場合は、重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。
- [49] 容積（「容積」欄左）  
貨物の容積を入力する。  
「0」は入力不可。  
なお、小数点以下第3位まで入力することができる。
- [50] 容積単位コード（「容積」欄右）  
「容積」欄左を入力した場合は、容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。
- [51] 原産国コード（「原産地」欄）  
貨物の原産地を国名コード（「業務コード集」参照）で入力する。
- [52] 特殊貨物コード（「特殊貨物」欄）  
貨物に特殊貨物が含まれる場合は、S P C（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）を入力する。
- [53] 海上運賃（フレート）（「海上運賃」欄左）  
貨物の海上運賃を入力する。  
「海上運賃」欄右に「J P Y」以外を入力する場合は、小数点以下第2位まで入力することができる。
- [54] 海上運賃通貨種別コード（「海上運賃」欄右）  
「海上運賃」欄左を入力した場合は、海上運賃の通貨種別を通貨コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。
- @ [55] 価格（「価格」欄左）  
仮陸揚貨物で保税運送を行う場合は、貨物の価格を必須入力する。  
ただし、関税法基本通達63-5(3)（保税運送の申告手続）に規定する保税運送申告の場合には、「1」を入力する。  
「価格」欄右に「J P Y」以外を入力する場合は、小数点以下第2位まで入力することができる。
- @ [56] 価格通貨種別コード（「価格」欄右）  
「価格」欄左を入力した場合は、価格の通貨種別を通貨コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。  
前記 [55] により、「1」を入力した場合には、「J P Y」を入力する。
- @ [57] 仮陸揚識別（「仮陸揚識別」欄）

仮陸揚貨物の場合は、「28」（仮陸揚）を入力する。

@ [58] 仮陸揚事由コード（「仮陸揚事由」欄）

仮陸揚貨物の場合は、仮陸揚事由を仮陸揚事由コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

@ [59] 仮陸揚期間（「仮陸揚期間」欄）

仮陸揚貨物の場合は、船卸開始年月日を起算日として仮陸揚期間を必須入力する。  
「0」は入力不可。

@ [60] 運送期間開始予定日（「運送予定期間」欄左）

仮陸揚貨物の保税運送を行う場合は、運送期間開始予定日を西暦（8桁）で必須入力する。

@ [61] 運送期間終了予定日（「運送予定期間」欄右）

仮陸揚貨物の保税運送を行う場合は、運送期間終了予定日を西暦（8桁）で入力する。  
入力をしない場合は、システムにより自動的に付与される。

@ [62] 仮陸揚貨物保税運送の運送具コード（「運送具」欄）

仮陸揚貨物の保税運送を行う場合は、次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
AIRCRAFT	6
SHIP	1 1
BARGE	1 6
RAIL EXPRESS	2 5
TRUCK	3 1
OTHER	1 7

@ [63] 到着地コード（「到着地」欄左）

仮陸揚貨物の保税運送を行う場合は、到着地を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

@ [64] 到着地名（「到着地」欄右）

「到着地」欄左に入力した保税地域コード（「業務コード集」参照）により到着地が特定できない場合は、到着地名を必須入力する。

※ [65] の項目は、最大5欄まで繰り返し入力することができる。

@ [65] 他法令コード（「他法令」欄）

仮陸揚貨物の保税運送を行う場合で、他法令に該当する貨物である場合は、他法令コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[66] 記事（「記事」欄）

貨物に関する事項を入力する。

## 2 混載子B/L情報の訂正

前記1(2)（登録の方法）によりシステムに登録した混載子B/L情報を訂正する場合は、次による。

### (1) 訂正の時期

混載子B/L情報を訂正する場合は、当該混載子B/L情報に係る混載親B/L情報について

の混載仕分確認(この章第3節(貨物の搬入関係手続)参照)が実施されるまで訂正可能である。

## (2)訂正の方法

### イ 呼出しによる方法

「ハウスB/L貨物情報登録呼出し」業務(業務コード:NVC11)を利用して、次の事項を入力し送信することにより、当該混載子B/L情報が「ハウスB/L貨物情報登録呼出情報」(出力情報コード:SAS0751)として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、後記ロ(呼出しによらない方法)に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] マスターB/L・混載親B/L番号(「マスターB/L番号」欄)

訂正する混載子B/L情報と混載親B/L情報が関連付けされている場合は、混載親B/L情報のB/L番号を必須入力する。

※ [2] の項目は、最大20欄まで繰り返し入力することができる。

[2] ハウスB/L・混載子B/L番号(「ハウスB/L番号」欄)

訂正する混載子B/L情報のB/L番号を必須入力する。

### ロ 呼出しによらない方法

「ハウスB/L貨物情報登録(登録、訂正、削除)」業務(業務コード:NVC01)を利用して、次の事項を入力し、前記1(2)(登録の方法)に準じて入力し送信する。

なお、「保税地域」欄とその他の項目を同時に訂正することはできないことから、双方の訂正をする場合は次のいずれかの方法により行う。

① 「保税地域」欄の訂正とその他の項目の訂正を分けて行う。

② 後記3(混載子B/L情報の削除)により当該混載子B/L情報をシステムから削除した後、前記1(混載子B/L情報の登録)により改めて混載子B/L情報をシステムに登録する。

また、「仕分保税地域」欄を訂正する場合は、「ハウスB/L番号」欄及び以降の項目の入力を要しないが、仮陸揚貨物で保税運送を行う場合は、「保税地域」欄が訂正できないため後記3(混載子B/L情報の削除)により当該混載子B/L情報を削除した後、前記1(混載子B/L情報の登録)により新たな混載子B/L情報を登録する。

[1] 処理区分コード(「処理区分\*」欄)

「5」(訂正)を必須入力する。

[2] マスターB/L・混載親B/L番号(「マスターB/L番号」欄)

訂正対象の混載子B/L情報と混載親B/L情報が関連付けされている場合は、混載親B/L情報のB/L番号を必須入力する。

[3] 保税地域等コード(「保税地域」欄)

混載仕分けを行う保税地域を訂正する場合は、訂正後の保税地域を保税地域コード(「業務コード集」参照)で入力する。

[4] 提出先官署(「提出先官署」欄)

仮陸揚届の提出先官署を訂正する場合は、訂正後の提出先官署を提出先官署コードで入力する。

混載親B/L情報に対する積荷目録提出先官署と異なる官署を仮陸揚届提出先に指定

する場合に入力する。

[5] ハウスB/L・混載子B/L番号（「ハウスB/L番号」欄）

訂正する混載子B/L情報のB/L番号を入力する。

「仕分保税地域」欄を入力した場合は、入力を要しない。

### 3 混載子B/L情報の削除

前記1(2)（登録の方法）により登録した混載子B/L情報を削除する場合は、次による。

#### (1) 削除の時期

混載子B/L情報を削除する場合は、当該混載子B/L情報に係る混載親B/L情報についての混載仕分確認（この章第3節（貨物の搬入関係手続）参照）が行われるまで削除可能である。

#### (2) 削除の方法

「ハウスB/L貨物情報登録（登録、訂正、削除）」業務（業務コード：NVC01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] 処理区分コード（「処理区分\*」欄）

「1」（削除）を必須入力する。

[2] マスターB/L混載親B/L番号（「マスターB/L番号」欄）

削除対象の混載子B/L情報と混載親B/L情報が関連付けされている場合は、混載親B/L情報のB/L番号を必須入力する。

[3] ハウスB/L混載子B/L番号（「ハウスB/L番号」欄）

削除する混載子B/L情報のB/L番号を必須入力する。

### 4 混載親B/L情報と混載子B/L情報との関連付け

前記1(2)（登録方法）により登録された混載子B/L情報について、混載親B/L情報との関連付けを登録する場合又は関連付けを取り消す場合は、次による。

#### (1) 登録の時期

関連付けの登録を行おうとする混載子B/L情報に係る混載親B/L情報についての混載仕分確認（この章第3節（貨物の搬入関係手続）参照）が行われるまで、あるいは当該混載子B/L情報の登録日を起算日として20日を経過するまでのうち、いずれか早い時期までに関連付けの登録を行う。

#### (2) 取消しの時期

関連付けの取消しを行おうとする当該混載子B/L情報に係る混載親B/L情報についての混載仕分確認（この章第3節（貨物の搬入関係手続）参照）が行われるまでの間に関連付けの取消しを行う。

なお、取消日を含めて20日間経過しても他の混載親B/L情報との関連付けの登録が行われない場合は、当該混載子B/L情報がシステムから削除されることから留意すること。

#### (3) 登録又は取消しの方法

「ハウスB/L貨物情報登録（関連付け）」業務（業務コード：NVC02）を利用して次の事

項を入力し送信する。

[1] 処理区分コード（「処理区分\*」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
関連付けの登録	2
関連付けの取消し	3

[2] マスターB/L・混載親B/L番号（「マスターB/L番号\*」欄）

関連付けを登録する混載子B/L情報に係る混載親B/L情報のB/L番号を必須入力する。

[3] 保税地域等コード（「保税地域」欄）

関連付けを行う場合は、混載仕分けを行う保税地域等を保税地域コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[4] 提出先官署（「提出先官署」欄）

混載親B/L情報に対して積荷目録情報が登録されていない場合で、混載子B/L情報に仮陸揚の旨が登録された場合は、仮陸揚届を提出する官署を入力する。

混載親B/L情報に対する積荷目録提出先官署と異なる官署を仮陸揚届提出先に指定する場合に入力する。

※ [5] の項目は、最大 20 欄まで繰り返し入力することができる。

[5] ハウスB/L・混載子B/L番号（「ハウスB/L番号」欄）

関連付けを行う貨物の混載子B/L情報のB/L番号を必須入力する。

## 5 出力情報

前記1（混載子B/L情報の登録）から4（混載親B/L情報と混載子B/L情報との関連付け）までにより混載貨物情報がシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
ハウスB/L 貨物登録情報	S A S 0 7 1 1	NVC01業務において新規登録又はNVC02業務において関連付けを行った場合。	登録者 混載仕分けを行う保税地域（注）
		NVC01業務で、混載仕分け場所を変更した場合。	変更後の保税地域（注）
ハウスB/L 貨物訂正情報	S A S 0 7 2 1	NVC01業務において混載子B/L情報を訂正した場合。	登録者 混載仕分けを行う保税地域（注）
ハウスB/L 貨物取消情報	S A S 0 7 3 1	NVC01業務において混載子B/L情報を削除した場合又はNVC02業務において関連付けを取り消した場合。	登録者 混載仕分けを行う保税地域（注）
		NVC01業務で、混載仕分け場所を変更した場合。	変更前の保税地域（注）
仮陸揚届提出	S A S 0 1 2 0	仮陸揚の混載子B/L情報をNVC01	登録者

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
情報		業務により新規登録又はNVC02業務により関連付けの登録を行った場合。	積荷目録提出港の管轄税関 (監視担当部門) 混載仕分けを行う保税地域の管轄税関 (監視担当部門)
仮陸揚届取消情報	SAS0740	仮陸揚の混載子B/L情報をNVC01業務により削除又はNVC02業務により関連付けの取消しを行った場合。	登録者 積荷目録提出港の管轄税関 (監視担当部門) 混載仕分けを行う保税地域の管轄税関 (監視担当部門)

(注) システム参加保税地域以外の場合は配信しない。